

上京

史蹟と文化

2005 VOL. **29**



美を語る

び

かた

東京にある名画

「夕暮」(上村松園画)



京極造形芸術大学
非常勤講師

加藤 類子

ある短歌会で一緒に歌を作っていた仲間、府一(京都府立第一高等女学校)の卒業生の方がおられて、学校に上村松園の「夕暮」が寄贈された日のことをよく憶えておられました。生徒一同が迎える儀式があつて、学校に搬入され、生徒たちに披露されたといひます。府一は戦後、学制の改革によって京都府立鴨沂高等学校となりましたが、戦争直後の青少年の心のすさみを表すかのよう、教室の壁は毀れ、窓のワイヤーは千切れ、空調も壊れたままでした。ただ、冬には石炭ストーブを焚くような環境の中で、松園の「夕暮」は校長室の壁にひっそりと掛かっていました。この高校に通っていた私は、校長室に用事などはまじりなかつたので、そこに「夕暮」が掛かっていることは知っていても、それをつぶさに眺める機会はありませんでした。

「夕暮」が画かれたのは昭和十六年(1941)のことで、第四回新文展に出品されました。松園は若いころから、夢想や下図がうまくゆかなかつたり、納得できなかつたりすると、制作が進まず、ときには展覧会への出品を断念する

で画いたと、松園は語っていますが、当時の批評家神崎憲一が評しているように、「芸術的な感興を圧倒してしまう程に、理性や主張が強く出ている」作品です。

その「序の舞」に較べますと、「夕暮」は全体がオーケル系統の色彩で統一され、地味な印象です。この作品には静かな情感こそあるものの、主張や理屈というようなものは見あたりません。ここにあるのは、松園の画家となるため



「夕暮」昭和十六年(1941)
第四回新文展
京都府立鴨沂高等学校

こともありまして。「夕暮」の制作直前にも、体調を崩していた松園は、今度も締め切りの日が迫り、のんびりとはしておられない状況でしたが、構想や下図は、本人の言葉で「言えば「気分がいい構図」だったらしく、一週間、ほとんど徹夜に近い調張りで完成させました。

「夜中の二時頃お粥を一杯のむと精神が鎮まって目がさえる。それから明日の夕飯時まで徹夜を延長し、夕方お風呂を浴びてぐっすり寝る。すると十二時前には決まって目がさめる。それから繪筆を手に翌日の午後五、六時頃まで書き続けるのである。…「夕暮」という作品が夜通しの一週間のほとんど夜分に出来上がったということも何かの暗示のように思えるのである。」(「青箱抄」)

当時、松園がすでに六十六歳であったことを思えば、たいへんな調張りです。しかも、松園は「世間の憂鬱まった頃、芸術三昧にひたっている幸福は何ものにも代えられない癖いものである」と、その心境を語るのです。

上村松園は生涯に多くの女性の姿を描きましたが、実在の人物や現代風俗の女性はほとんど描きませんでした。勿論、小野小町や遊女龜遊は歴史上の実在人物ですが、松園の選んだ画題は、彼女たちの伝説の部分に過ぎません。現代風俗については、「序の舞」がそうですが、これは長男信太郎(松園)の夫人や絵の女弟子たちをモデルに描きました。そして松園の心の中のモデルは、浄土真宗本願寺派第二十世門生大谷光尊の次女で、男爵九条良致夫人であった九条武子といわれています。「序の舞」は、「何ものにも犯されない、女性のうちにひそむ強い意志」を伝える意図の下

の精進を理解し、支えてくれた母仲子の面影と、その姿に重ねるように画かれた、京の女の黙々と家事にいそしむ日常ではなかったでしょうか。

松園がこの作品を府二に寄贈した経緯は今は、もう判り



「序の舞」昭和十一年(1936)文展所蔵展
東京芸術大学蔵

ません。当時、孫娘が府二に学んでいた縁もあるうと思います。それに、当時は既に太平洋戦争の最中、多くの若い男子が兵隊として戦地に送られ、女性が留守を守らねばならなかった時代です。そうした状況の中で、将来の良妻賢母を育てる高等女学校にこの絵が贈られたことは、いかにも、この時代らしい出来事でした。

「夕暮」は現在、京都文化博物館に寄託されていて、鴨沂高校で見ることができません。また、国の指定する重要文化財には「序の舞」の方が選ばれました。華やかな画面と、知名度の点で、「序の舞」はすぐれています。が、作品としては「夕暮」の方が上だとこれは多くの人が指摘しているところですよ。

出水通

出水通は中途半端な道といえる
かもしれませぬ。現在は烏丸通から始まり、新町通で京都府庁の構内へはいります。構内というより本庁舎を越えて西洞院通から西へ伸び、その先は七本松通に突き当たります。こう書きますと何の変哲もないような道に見えますが、よく調べてみると、なかなか歴史を踏まえているのです。

古くは出水通は近衛大路といいました。平安宮大内裏の東側、大宮大路には一条大路から二条大路までの間に四つの門が開かれており、北から二つ目の陽明門の近くに近衛府があつたところから、近衛門と称し、その大路を近衛大路というようになりまして。近衛とは天皇の最も近くを衛る武官をいいます。

今の出水通は烏丸通から七本松通まで一・六キロほどですが、よ

上京の史蹟シリーズ (その11)



く考えてみれば、烏丸通より東にも東京極大路まで近衛大路があつたはずで、近世の皇居を核とする公家町の中に取り込まれて行つたのです。宝永五年（一七〇八）の大火まで東洞院通は三本木と呼ばれ、その一丁目が出水通から始まりました。

荒神口通

川端通から東へ近衛通というやや広い道路があります。これは明治時代の計画道路として新しく開かれ命名したもので、平安時代の近衛大路と関わりないところに名を残しているのです。

京都七口の一つ荒神口は、ここに位置する清荒神護浄院に由来します。鴨川から寺町まで四〇〇メートルほどの短い道路ですが、その東端が荒神橋なのです。この橋は大正三年に竣工し、昭和十年の水害で中央部が流失し、その間を

荒神橋



木橋でつながれていたのですが、昭和三十年代の水害で橋桁が落下しました。その後、今の橋に架け替えられました。欄干の一部や親柱に大正三年当時の面影を残しています。

荒神橋の南詰から鴨川の右岸へおりの細い坂道が残っています。これは車道といい、明治初期まで、荷車は橋を渡らず、鴨川の浅瀬を横切つたのでした。それは幕末に荒神橋が御幸橋といわれ、皇居から聖護院への天皇の避難路であつたからなのです。天明八年（一七



香淳皇后御歌碑

八八)、折からの強風の中、京都の町を焼き尽くした大火に、皇居をはじめ公家屋敷は丸焼けになり、聖護院に仮皇居が設けられます。

さらに安政元年(一八五四)にも皇居が全焼する火事があり、荒神橋は擬宝珠高欄付の立派な橋に架け替えられ、御幸橋といわれるようになり、以後、天皇の川東への行幸の道とされ、荷車の通行が禁止されたので、浅瀬を渡るようになったのです。よく知られている擬宝珠のある橋の下に牛の曳く荷車の写真は明治初年の荒神橋な

のです。なお擬宝珠を置けるのは御公儀橋である三条と五条の橋に限られていました。

川沿い北側の「くに荘」の地は久邇宮多嘉王家の宮邸の跡で、同じ宮家出身の香淳皇后が幼少の折この宮邸に度々遊びに来られた思い出を、昭和五十六年の宮中歌合始に「鴨川のほとりに出でてながめやる荒神橋はなつかしきかも」と詠まれ、その御歌碑が立てられています。

南側は京都地方事務局などの官庁になっていますが、戦前、ここは細川屋敷といわれた熊本藩主細川家の屋敷地で、雑木林や池が残る自然の遊び場でした。

河原町通を西へ越えると南側に清荒神があります。古くから火の守護神として家庭の竈かまどに御札が貼られ、日常生活にとけ込んでいました。もとは摂津勝尾山の清荒神を室町時代の初めに後小松天皇によって京都に勧請され、慶長五年(一六〇〇)に現地へ移転し、以



清荒神護淨院

来、宮中の信仰が篤く、女官が代参していました。本尊は三面六臂の恐ろしい形相をした三宝荒神の像で、流造の神社風の本堂に秘仏として安置され、前に石鳥居があったて神仏習合の名残を感じさせられます。

さらに西、荒神口通を挟んで府立鴨沂高校がありますが、北側の塀の間に「従是東北 法成寺址」と彫られた小さな石標が立っています。百人一首に「法成寺入道前 関白太政大臣」として取り上げら

れている藤原道長その人の遺跡といえます。当時の府立第一高等女学校の体育館の工事に伴い、瓦などの遺物が出土していますが、その遺構はまだ明らかになっていません。

やがて寺町通で仙洞御所の築地塀に突き当たります。寺町通の東側にも公家屋敷が建ち並んでいたのです。京都御所が土御門内裏として今の位置に定着したのは南北朝時代からですから、追い追いに公家屋敷が集住して公家町を形成するようになります。本来の近衛大路は烏丸から東も機能を果たしつつ鴨川に至り、さらに白川街道(志賀越・山中越)にも接続していました。

出水通

烏丸から始まった出水通は二町程で途切れれます。ここには近衛町や東出水町、西出水町といった町名が残っています。烏丸から少し

西へ入った北側に益富地学会館があります。正倉院薬物の研究で著名な薬学博士の益富寿之助氏^{ますとみかずのすけ}が生涯に蒐められた珍しい石の博物館です。歿後、お弟子さん達に引き継がれ、土・日曜日に公開されています。さらに西、京都當道^{とうどう}があります。これは江戸時代の視覚障害者の當道座の伝統を受けついで箏曲の団体です。時折、二階からお琴や三味線の音が聞こえてきます。

出水通の正面には京都府庁旧本館の側面が見えます。昨年十二月竣工百周年目で重要文化財に指定され、数少ない明治の府県庁舎として保存されることになりました。明治三十七年に京都府技師松室重光らの設計で建設されたネオルネサンス様式の堂々たる府庁舎です。ここで作成され保存されて来た一万五千点にも及ぶ京都府行政文書が重要文化財に指定されたのも縁^{ゆかり}りの深いことでしょう。現在の府庁の広い敷地の過去は



京都府庁 旧本館

というと、幕末の文久二年（一八六二）、会津藩主松平容保^{かたもり}が京都守護職に任ぜられるにあたって、その役宅として下立売 下長者町、新町 西洞院に囲まれた民地を買収したのです。明治になると、この地に京都府庁が置かれ、現在に至ります。さらに昭和二十年、戦時体制により府庁周辺の民家は強制疎開により立ち退かされ、その跡が官公庁街となりました。その西側にも近衛町の名が残っています。

聚楽第と大内裏

ここから西は堀川通を越えて細い道が続きます。特に取り上げる史跡も少ないのですが、一帯は聚楽第の南端に当たります。東天秤町、西天秤町、天秤丸町の名が見えるところから、大宮通から智恵光院通あたりは天秤櫓があった天秤丸の一廓でした。また智恵光院通に近く松林寺がありますが、この境内の低地は聚楽第の堀の跡と伝えていきます。

大宮通から西は大内裏の中に入り、ここには陽明門がありました。また内裏の北部にもあたります。千本通へ出る手前に桜宮神社があります。平安時代の延喜十年（九一〇）に、北野右近馬場の桜の大木に紫雲がたなびき日輪が降臨したのが始まりとされています。祭神は天照大神のほか、金刀比羅・春日・八幡・稻荷・愛宕・御嶽の神を合祀しており、桜宮日降神明

とか桜葉明神といわれました。室町時代には子宝に恵まれない足利二代將軍義詮^{よしあき}が祈って三代義満が生まれたとか、疫病の流行した時、庶民が祈願して病を免れたなど、多くの靈験譚も伝わっています。

出水の七不思議

出水通は千本通を越えると一変します。そこは多くの寺院が築地塀を連ねているのです。今の仁和

-いつも新しい感動を-

京都府庁前、舞臺会館前へ繋がるショッピングビル。

おしゃべりな表情がよりそくアットホームビル。

3フロアの多様なテナントビルで、

お客様のための様々なサービスをお届けします。

【商業】11階建
(2400㎡×5フロア)

●東横店【東山1000】 ●東横店【東山1000】

●西横店【西山1000】 ●西横店【西山1000】

●南横店【南山1000】 ●南横店【南山1000】

●北横店【北山1000】 ●北横店【北山1000】

京都ブライTONホテル

〒600-8011 京都市上区京橋町通今交(京橋西)

TEL:075-461-4422(夜) FAX:075-461-3288

ブライTONホテル ホームページ

http://www.kyotobrighton.jp/



桜宮神社

学区は平安宮大内裏の西半分で、平安宮の荒廃により中世には「内野」といわれる荒地となり果てました。近世にはそこへ多くの寺院が集まって来るのです。日蓮宗の本山が多いのも、それに由来します。

そのあたりに出水の七不思議という伝承があります。出水通の六軒町通から七本松通にかけての六寺院に七つの不思議があるのです。千本から一筋西の六軒町通を越えたあたりから順番に見て行きますよ。

まず北側に華光寺があります。



華光寺の時雨松

ここには二つの不思議がありました。一つは「時雨の松」で、秀吉手植の松と伝え、晴れた日でも枝から露がしたり落ちるので、いかにも時雨のようであったそうですが、大正五年頃に枯死し根幹が鐘楼に置かれています。もう一つ



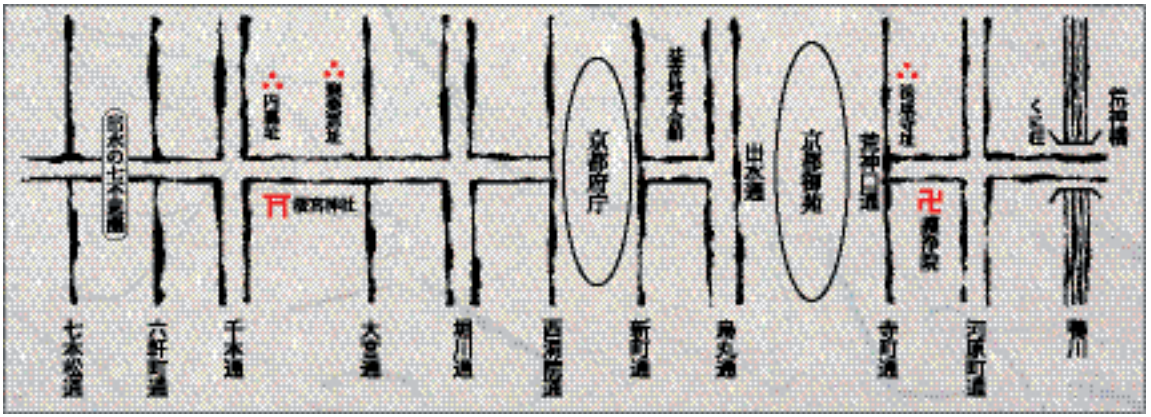
光清寺の猫の浮かれ絵馬

の「五色椿」も昭和初期に枯れてしまい、いずれも現存しないのが残念です。秀吉の愛好したという五色椿は五種類の花をつけたといえます。次は南側の光清寺。ここには弁天堂に掲げられた「浮かれ猫の絵馬」があります。この猫は三味線の音を聞くと浮かれて踊り出すので金網をかぶせたら、そのことがやんだという由緒が伝えられています。一匹の猫に牡丹と蝶が描かれており、今はガラスで覆われているために反射して写真を撮りにくいのが残念です。三味線上達の信仰もあり、近くの五番町遊郭との関連が想起されます。

その西隣の五却院には「寝釈迦」があります。この表門の潜門の上框の木目が、あたかも釈迦が寝ている姿に見えるというので寝釈迦といわれるようになりました。そういわれれば寝釈迦にも見えるという不思議な木目です。

七本松通に出ますと西側に観音寺があり、その山門は「百叩きの門」とか「泣く山門」といわれてきました。もとは伏見城の牢屋の門を移築したもので、扉は楠材、





観音寺の百叩き門

といひます。またこの門の潜り戸が風で開くと人の泣き声に似た音がしたといひ、これも牢門からの連想でしょうか。



五却院の寝釈迦

よく見ると裏には太い格子が組み、堅固な鉄が打ちつけられています。罪人を放免する時、鞭で百回叩かれ、真人間になれると悟されたので百叩きの門といふよにならう



極楽寺の二つ潜り戸

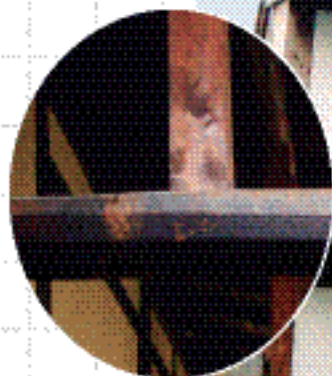
その南、極楽寺の山門にはなぜか二つの潜り戸があります。通常、潜り戸は右側だけのものですが「二つの潜り戸」として七不思議に加えられてきました。さらに南、七本松通の東側の角にある地福寺には「日限薬師ひぎり」があります。鷹司公の重病を平癒したという故事をもつ薬師如来で、耳の聞こえない人が、穴のあいた小石を奉納して祈れば癒るといふ

新・古茶道美術品
清昌堂
やました

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル
〒602- TEL(075)431-1366
0061 FAX(075)431-1370

東京店・東京都新宿区市ヶ谷甲良町1-8
〒162- TEL(03)5261-4566
0856 FAX(03)3235-5677

信仰がありました。また境内の井戸水は不老長寿の霊験があると伝えていいます。出水の七不思議が、いつ頃から始まったものかわかりませんが、江戸時代以来の強い信仰があったものと思われます。最近では忘れられようとしていますので、あえて紹介させていただきます。この周辺には由緒正しい寺院が軒を連ねており、その墓地には多くの先賢の墓が残されています。



上京の町家



ひばえのいえ 西陣薬ノ家

京都市上京区上立売通浄福寺四入

上京区内には京都市の「歴史的風致建造物」に指定されている町家が数多くある。この西陣薬ノ家もその一つである。この家には五十年前から一級建築士の田村佳英さんが住まわれ、自らの建築事務所を経営されながら、伝統町家の再生を節電・防火・居住性・過熱環境・地球環境負荷・歴史的町並み保全等の視点から、実験的に試みられたという。薬とは枯木の破元から新しい芽が生えるという意味から名づけられた。

この建物は西陣の機業地であり、典型的な伝統町家の行いを残し、百五十年ほど前の天保年間頃の建築当初は平家建、檜葺の大屋根形式と推測されるが、改修をしながらも、当時の間取りが継承されているという。

そのままであれば老朽化して解体される運命にあったかもしれない。そこへ入居された建築家の田村さんの想いが結集され、優れた

大工棟梁と建築技術者・研究者などの協力で、単なる修復ではなく、これからの町家再生の基本的な指針を与えるような成果がなしとげられたのであろう。

この家には田村さん自身も住まわれ、一級建築士事務所を開き、関西木造住宅文化研究会（略称KARTH・カース）の活動拠点ともなっている。KARTHは、この事業をきっかけに町家の再生に関する公開シリーズ研究会などを定期的に開催し、地域や行政だけでなく、多くの専門家とともに語りあう会合を主催されている。

連絡先は
電話(075)421-2730



上京の埋蔵文化財

細川典厩邸跡の調査

上京遺跡は、室町幕府の中核部である御所や貴族の邸宅、武家屋敷の建ち並ぶ中世の都市遺跡として、平成十五年度新たに登録された遺跡です。これは、平安京の北側に接し、東側は室町幕府三代將軍足利義満の発願によって創建された相国寺（相国承天禪寺）境内によって画されています。そして北は上御霊前通、西は智恵光院通に囲まれた東西約一キロメートル、南北約一キロメートル、総面積約100ヘクタールにおよぶ広大な遺跡です（図1）。

ところで、上京一帯に分布する室町幕府に関連する御所や邸宅跡の一部は、既に重要遺跡として遺跡登録がなされてきました。その主なものは、永徳元年（一三八二）足利義満によって造営された室町殿跡（花の御所）、五撰家の一つであった近衛家の別邸（桜御所）を中心とした同志社大学の新町校地遺跡、寛元三年（一二四五）に造営された九条実経の邸宅で大永年間（一五二二～二八）に一条家の所有となつた一条室町殿跡などです。これらの遺跡の調査を通じて、この付近には中・近世の遺構が良好に遺存していることが次第に明らかになってきました。また近年、中・近世遺跡の調査・研究の重要性が認められてきたこともあって、上京一帯を遺跡として登録することになったのです。従って、広義には上述した御所や邸宅跡も含めて「上京遺跡」といっても差し支えないでしょう。

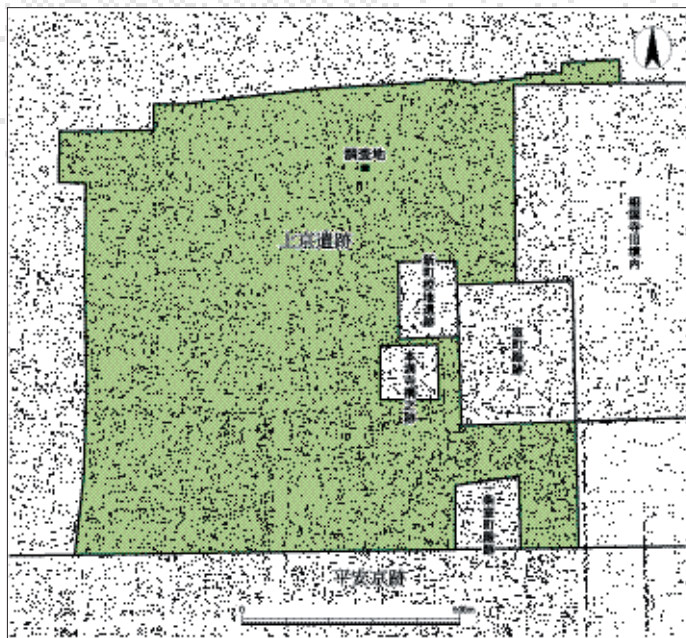


図1 上京遺跡と調査位置図

「上京遺跡」最初の調査

上京遺跡としての初めての調査が、平成一六年八月九月にかけて上京区寺之内通新町西入ル妙顕寺町にある財団法人不審菴の敷地で行われました。ここは上京遺跡の中央北寄りに位置しています。調査面積はわずか一九〇平方メートルでしたが、室町時代後期（一六

世紀前半）の井戸や堀、土壙（ゴミ捨て穴）などの遺構を見つけることができた（図3）。これらの遺構は、新古、二時期に分けることができます（図2）。古い時期の遺構は方位が北に対してやや西側に振れるのが特徴で、調査区の東側で見つけた南北方向の溝と柵列によって敷地が東西に区分されているようです。西側の区画には大小の土壙が掘られており、中には土器のかけらや、巻貝の殻などが出土しています。これに対して新しい時期の遺構には方位の振れがほとんどみられません。調査区のほぼ中央で東西方向の堀



図5 石組井戸



図4 土壙（遺物出土状況）

跡を見つけました。これは「布掘り」とよばれる、溝状に掘り窪めた掘形の中に礎石を並べて据え付け、柱の基部を埋め込む、特殊な工法を用いています。堀跡は調査



図2 遺構分布図

区の西側で南へ直角に折れ曲がっています。また、調査区の北側には並行して、やや小型ながら同様な基礎が見つかっており、この間が通路となっていたものと考えています。また、調査区の南側では石組の井戸（図5）も見つかっています。

井戸や土壙からは多くの遺物も見つかりました（図4）。大半は土師器と呼ばれる素焼きの皿ですが、その他に施釉陶器「美濃・瀬戸」、焼締陶器「備前、信楽、常滑」、瓦質土器「奈良火鉢」など日本各地で生産された焼き物、あるいは、中国からの輸入磁器（青磁、白磁）も認められます。また、



図3 調査区全景（西から）

茶臼とみられる石臼、刀に付属する筭、銭貨（宋銭）などもあります。

洛中洛外図から遺跡を読む

調査で発見した遺構は室町時代後期（一六世紀前半）のもので、当時の上京の状況を具体的に示す資料として「洛中洛外図」の一群があります。この内、旧町田家が所蔵し、現在国立歴史民俗博物館が所蔵している「旧町田家本」は一六世紀前半のもの。狩野永徳の筆により織田信長が上杉氏に送ったとされる「上杉本」は一六世紀中頃の作で、いずれも当時の街並みをかなり正確に描いていること

永年の信用
まごころのご奉仕

公益社

葬祭センター

本社 京都市中京区烏丸通三条下る 番075(221)-4000
フリーダイヤル 0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

◆ 葬儀式場 ◆

公益社 白旗店（白旗）	075(414)0420
公益社 北山店（北山）	075(551)5555
公益社 東山店（東山）	075(882)0042
公益社 南山店（南山）	075(322)0042
公益社 西山店（西山）	0774(20)0042
公益社 東山店（東山）	075(523)0042

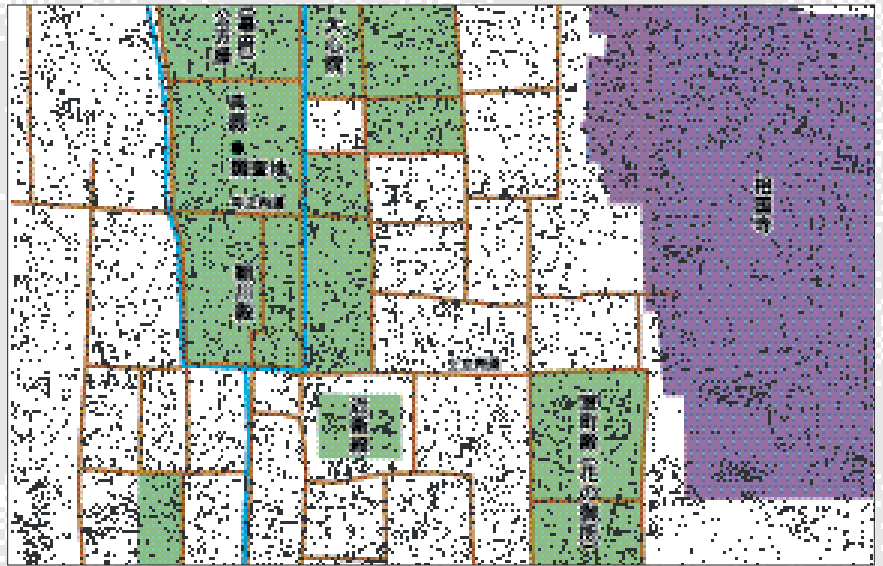


図6 上京遺跡復元図

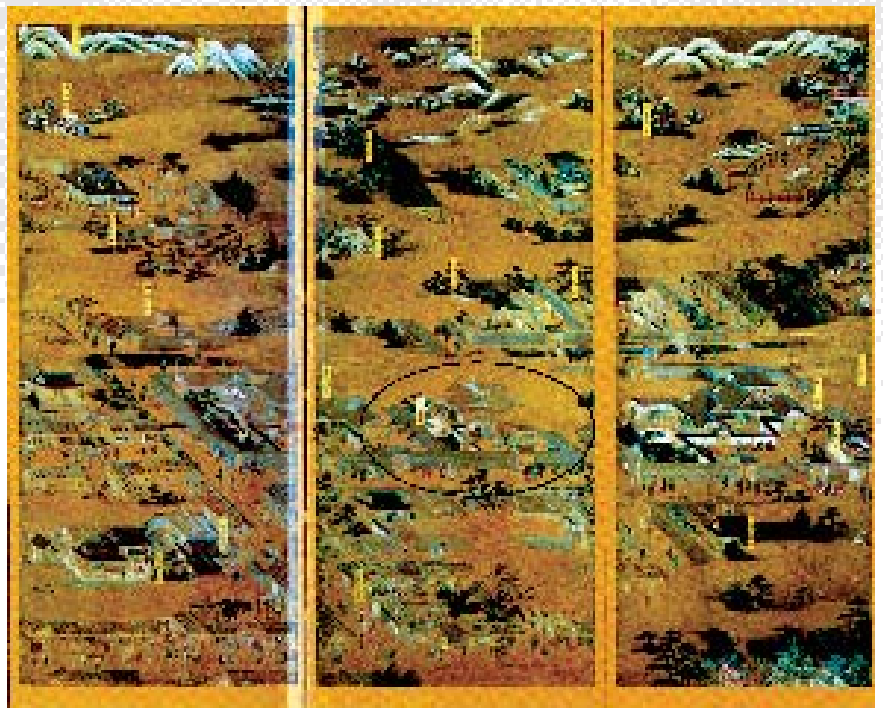


図7 洛中洛外図 (旧町田家本左隻の一部抜粋)

ています。その屈曲した部分の北東の一角が室町幕府の管領細川氏（京兆家）の邸宅となっていて、その北側に隣接して典厩家があります。

細川典厩の邸宅

今回の調査区はまさにその典厩家の邸宅のほぼ中央にあたると思われま。典厩家は細川氏の嫡家にあたり、代々右馬頭を官途としたので馬寮の唐名である典厩と称されています。ちなみに、調査で発見した遺構の時期（一六世紀前半から中頃）の典厩としては、左馬頭を勤め典厩の由来となった細川尹賢、天文二年（一五五二）に右馬頭となりその後を継いだ藤賢が該当します。洛中洛外図によれば、典厩家の邸宅は東側に正面の棟門を設け、敷地の北側に柿葺の主殿や付属屋が並び、南側には庭石や樹木を配した庭園が広がっています。

調査区が狭いこともあって発見

が近年の研究で明らかになっていきます。この二つの屏風の左隻は、同じ構図で上京周辺を描いており、「小川」が中央を左（北側）から右（南側）へ屈折しながら流れ、その周辺に武家屋敷や御所、民家

が建ち並んでいる様子をつかうことができます（図7）。図6は「旧町田家本」を参考に、現在の地形図に当時の街並みを復元したものです。復元の手がかりは小川の流れです。小川はその一部が水

無瀬川となつて現存していますが、昭和三〇年代に大半が埋め戻され、現在は小川通と呼ばれる道路になっています。絵図では南流してきた小川が上立売通で東へ折れ曲がり、しばらくして再び南へ折れ曲がっ

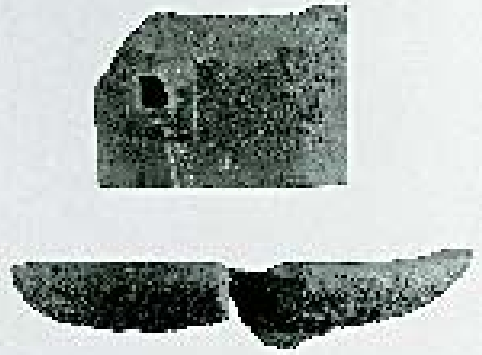


図8 石臼

した遺構が、邸宅のどの部分にあたるかを知るとは困難です。ただ、古い時期の遺構の性格を知る一つの手がかりは、調査区の西側で見つけた大型の土壇群です。この中からは食器とみられる土器の破片や貝殻などの食物残渣しょくぶつざんごんがたくさん出土していて、これらの土壇の多くは塵芥を処理したゴミ捨て

穴であると考えられます。従って、この付近は邸内でも日常生活に密着した空間であると考えられます。一方、布掘り基礎を持つ新しい時期の堀跡は、同様のものが同志社大学新町校地遺跡（桜御所跡）でも見つかっていて、当時流行した「鯖板堀」と呼ばれる堀ではないかと想像しています。おそらく邸内を区画する重要な施設であったと考えられます。

調査では遺物も多く出土しました。土器類が主で、中でも土師器（皿）がその大半を占めています。この状況は中世京都の他の遺跡と大きく異なるものではありません。ただ、そこに日本各地で生産した多種多様な土器や陶器類、中国製の陶磁器類が多く含まれること、さらにその中に精巧な模様のある

青磁大皿などの優品が認められることは、この遺跡の住民が有力者であったことを物語るものです。そして、茶臼とみられる石臼（図8）、刀飾具の筭しゅうがい（図9）など当時の武家の生活習慣と密接に関係する遺物が出土したことは、当地が細川典厩の邸宅であるということとを傍証していると考えています。

おわりに

上京遺跡は遺跡登録されてから日が浅いだけに調査例も少なく、実態をつかむには、さらなる調査の積み重ねが必要です。しかし、いつの日かあの「洛中洛外図」の世界を発掘調査の成果で復元してみたいと考えています。

（財）京都市埋蔵文化財研究所

吉崎 伸



図9 筭

医系大受験専門予備校

学校法人 **近畿予備校**

医学部・歯学部・薬学部・獣医学部

医進アカデミー **医進高校生コース**

対象: 既卒生・再受験生 現役合格 対象: 高2・3生

0120-399-475

〒602 京都市上京区烏丸通今出川下る梅屋町475
TEL.075-441-6691 (直) 地下鉄今出川駅⑥南出口南スグ
URL: <http://www.sime-gakuen.ac.jp>

歴史文字シリーズ

伝達浪漫

資料館のアラムホリ9にニア製真人石像、製版文字が新しくも豪華さを配されている。

W 和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御座前上ル TEL.075-441-5400(直)
E-mail: info@wako-print.co.jp



春の上京茶人云

恒例の「上京茶会」は
上京区文化振興会と
上京区役所の共催により
六月二十六日に開催されました。
大友宗麟公ゆかりの大徳寺塔頭
「瑞雲院」を会場に、表千家の懸釜で行われ、
四九〇名もの参加者を迎えました。
静かなたたずまいのなかで、本店・副席のお茶を
美味しくいただきましたながら、
優雅なひとときを過ごすことができました。



体験親子「菓子教室」

三月二十九日に親子で楽しむ
「京菓子教室」が上京区文化振
興会と上京区役所の主催により
催されました。京菓子資料館に
場所を借りての体験学習は、
今年で二回目となります。
「懐屋吉富」石原会長のお話
と資料館の見学の後、同社菓子
職人を講師に、色鮮やかな生菓
子作りに熱心に取り組みまし
た。
京都ならではの貴重な伝統文
化にふれる春休みの思い出とな
りました。

五月憲法月間の取組として、五月二十六日に同志
社大学東梅館ハーディーホールにて、上京区民ふれ
あい事業実行委員会の主催、同志社大学学生支援課
の共催、上京区地域経済発達推進協議会の主管による映
画「みすゞ」が上映されました。
この映画は童謡詩人・金子みすゞの生涯を通し
憲法
月間
映画の「みすゞ」
書き続けた彼女の純粋な時を理解できる映画です。
一部・二部併せて約九五〇名の来場者が訪れ、
会場はあふれんばかりの大盛況で、映画を通して人
権について考えていただけた意義深い上映会となり
ました。



宴会・婚礼・会議
宿泊・レストラン

くつろぎ ¥4,200(税別)

ホテルルビノ京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町
TEL 075-432-6161代 FAX 075-432-6160 <http://www.rubino.gr.jp/>



イメージ料理



季節料理
祇園

7000-0088 京都主要山辺花見小笠原橋渡入
TEL.075-925-1315



無祖

はたん鍋と京料理



「上京史蹟と文化」は上京区役所まちづくり推進課で販売致しております (TEL 4415040)

花にまつわるエピソード...



季節も添えて演出します。

心のこもった贈り物 Flower Gift.

～ 花束 アレンジメント グリーン/バスケット スタンド花 etc. ～

フーフーアレンジメント教室 開催中!!

長岡店 長岡駅前丁吉野ビル内

TEL&FAX 075-827-0187

大塚店 大塚駅前西側 D・イカルボークビル内

TEL&FAX 077-545-8287

本店 京都市上京区東丸太町(河内下ル) TEL.075-414-8700代 FAX.075-414-7787
フリーダイヤル 0120-46-8700 URL:<http://www.hanakobo.co.jp> 本店2FにてCafeも営業しております。



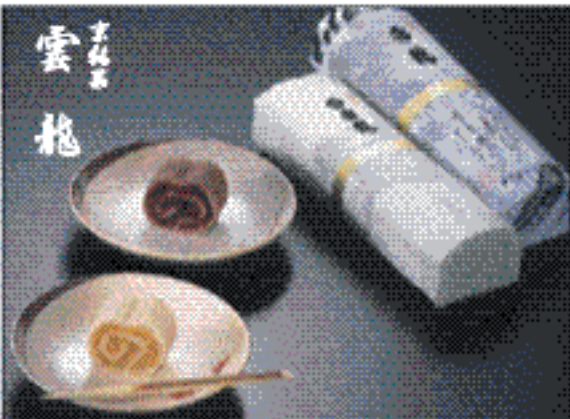
創立以来70余年にわたって、和やかな家庭的な家庭風に包まれつつ読書教育の本流をめざして、保育を続けて参りました。幼児たちは楽しい遊びを通して、人生に必要な生きる力のすべてを手に入れます。

学校法人 北野幼稚園

京都市上京区御前通一乗下る (北野天神宮/バス停下車南100m)

TEL.463-0111代

http://homepages3.nifty.com/kyotodcteno_k/



雲
拖

京都伝統工芸 宮内庁登録特産品

依屋吉富

本店 京都・室町三本巻 電話 (075) 221111代

高尾店 京都・高尾三本巻 電話 (075) 221011代

安全真話

安心のために。伝えたいのは「真実の話」です。



サン・クロレラAは日本農薬株式会社J142426、
本国農薬登録No.53299129取得しています。

食品の安全性に対する「神懸」が漸れだしている現在…。消費者の皆様の目が厳しくなる中で、私たちはあえて伝えたいことがあります。創業以来、品質にこだわり続けたサン・クロレラは「安全」に対する厳しさを知っているということ。その結晶のひとつが「サン・クロレラA」。すべてを自社責任のもとに開発から製造まで管理し、GMP®に準じた製造工場で厳重な検査のもとに生産しています。さらにお届けに関しても自社グループにより直接お客様のお手元へ。製品の正しいご理解と安心してご利用いただくためのアフターフォローも行っています。おかげさまで30年以上にわたってご愛顧いただき、お客様は日本だけでなく世界の国々へと広がっています。もし品質にわずかな不安でもあれば、これほど長い間にわたり愛され続けることはなかったでしょう。安全のために努力を惜しまないという「真実」。これこそがお客様が求める「安全真話」に込められる理由です。

無添加の安全製造及び品質管理に努める姿勢



サン・クロレラAは日健薬協に認定されています。
財団法人日本健康・栄養食品協会の認定マークは、品質規格基準に基づき、
協会の厳正な審査をパスした製品に対してのみその表示が許可されたものです。
サン・クロレラAの製造工場はISO9001の規格を取得しています。